

2024 年度 秋山喜代賞 受賞者

[株式会社シロ](#)

代表取締役会長 / ブランドプロデューサー

今井 浩恵 様



1. 事業内容

入社後は社内のすべての職種を数年で経験し、26歳で代表取締役社長として事業開発・ブランド創設に邁進し、創業の地である砂川市の活性化に取り組むと同時に、ロンドンをはじめ、世界を視野に入れた店舗展開をしています。会長に就任後は、その主たる活動を会社運営から社会活動へ移し、ものづくりと社会課題を軸とし、「もの」と「こと」を着地させ、企業を成長させながら、事業家として企業の最も大切な基盤である「ものづくり」と「ブランディング」をさらに強固なものにしてきました。

例えば、がごめ昆布、酒かす等、これまで捨てられてしまうはずの自然素材や副産物を有効活用し、ものづくりへ還元。さらに砂川市の地域創生も含めた、みんなのすながわプロジェクトによって工場を開くことを実現した「みんなの工場」や、森の都合に合わせた建築を実現した「MAISON SHIRO」など、持続可能な循環を創るために日々活動を続けています。

2. SHIRO について

「世の中をしあわせにする」という企業理念のもと、自分たちの感性と正直に向き合い、純粋に良いものをつくり続けること、また、大地の豊かな恵みである素材に向き合い、自分たちが毎日本当に使用したいと思えるものだけを正直につくり続けることなど、人・社会に対しても誠実に向き合っています。

国内外で出会う自然素材の可能性を信じ、その力を最大限引き出すスキンケア、メイク、フレグランスなどをつくるコスメティックブランド SHIRO。



自社内に開発から製造、販売まですべての機能を持ち、創業当初からエシカルな信念に基づくものづくりを続けています。ブランド創設から7年、日本全国に展開する直営店の他、イギリス・ロンドンにも出店し、世界中の人々へ自然の恵みを最後の一滴まで余すことなく使った製品を届けています。

3. みんなのすながわプロジェクトでつくられた「みんなの工場」

砂川市全体の活性化を目指すまちづくり「子どもたちが未来に希望をもてる砂川」や、「市民の皆さんが誇りをもてる砂川」を目指し、2021年6月から「[みんなのすながわプロジェクト](#)」を発足。ものづくり、人材育成と教育、観光をテーマに、地元市民、商工会、市役所・議会等と密接な連携を取りながら、社会課題を解決するため取り組んでいます。

「みんなの工場」をつくるにあたり、地元市民とプロジェクトに興味をお寄せくださった全国の人々



と1カ月に1回のペースでワークショップを開催し、計16回にも及ぶワークショップでお寄せいただいた貴重な意見をすべて取り入れ、2023年4月、新工場と付帯施設を含む「[みんなの工場](#)」をオープンしました。また、ワークショップの中の声のひとつであった、駅前の砂川パークホテルの改修を進め、残すものと新しくつくるものを判断し、2027年初旬には宿泊施設と平屋のサービス付き高齢者向け住宅が一体となった施設へと生まれ変わらせ、砂川市へ多くの人流をもたらし、さらなるまちの活性化を図ります。

*「[みんなの工場](#)」は、2023年4月北海道砂川市にオープンしたSHIROの製品を製造する工場にショップやカフェ、キッズスペース、ラウンジなどを併設した、人と環境に配慮した循環型の施設で、地元の工場で働く人々の雇用も創出しています。工場はものづくりのすべて見学いただけるよう、壁ではなくガラスで仕切り、「工場を開く」ことを実現。ショップ内のブレンダーラボではご自分のオリジナルの香りを実際の工場と同じ製法でつくることのできる、ものづくり体験が楽しめます。ピンネシリの山々を望みながら、ゆっくりと過ごせるカフェやラウンジ、子どもたちの自由な遊び場、小さな図書館も完備しているこの場所は、誰も排除することなくみんなの居場所になること、そして、世界中から人々が集い、誰もが感動体験を持ち帰れる施設になることを願い、完成いたしました。

*[すながわジャリポリー](#)は、「子どもたちが社会に出て働くことを夢見て欲しい」という思いではじまったイベントで、地元の学校や団体と共同で、ものづくり体験、飲食ブース、ステージイベント等、2019年まで10回継続しました。その後、「みんなの工場」がオープン以降は、毎年夏に集まって下さる大人も子どもも、すべての人々に楽しんでいただけるイベントを行っています。



4. 森の都合で建築された「MAISON SHIRO (メゾンシロ)」

2024年4月北海道夕張郡長沼町に、一棟貸しの宿泊施設「[MAISON SHIRO \(メゾンシロ\)](#)」をオープン。プライベートサウナは白樺やカラマツの端材と札幌軟石を使用しています。また、ロウリュウにはシロラボラトリーで近隣の森林を管理する過程で生まれる間伐材やその枝葉、自生する笹やヨモギなど、自然素材の蒸留水を使用しています。滞在中はいたるところに置かれた SHIRO のスキンケアやフレグランス製品を思う存分使用できたり、お庭からはブルーベリーやハスカップ、季節の野菜など、様々な旬の素材が堪能できたりと、いたるところから SHIRO の暮らしを感じられる空間をお楽しみいただけます。

また、通常の建築方法ではなく“森の都合”に合わせ、自生する森を蘇生する過程で生まれる間伐材のみで建物づくりをしました。まったく新しいこの取り組みは、同じ覚悟と志を持った各分野のプロフェッショナルのみなさんとチームを組み、多くの会話と長い時間で作られた信頼関係のもと、時にはぶつかり合いながら、いくつもの知恵を出し合って“自然の循環を守ること”と“美しいクリエイティブ”の両軸をかなえる建物づくりが実現しました。

これから SHIRO は新しい標準を創造し、世の中の人々が自らの選択によって波及したとき、すべてが循環する社会となり、100年後には今よりももっと良い地球にするため、アクションを継続します。

5. おわりに

私は、北海道旭川町で生まれ育ち、北海道砂川市にあるローレルに入社しました。その後、26歳で社長となり、「世の中をしあわせにする」という企業理念を掲げ、その後、全国にある有名ブランドの OEM など、ものづくりに全力を尽くす日々を過ごしました。しかし、子供が生まれてからというもの、水の中にほんの数滴の有効成分を入れた製品を人々が使い、果たして世の中をしあわせにしているのだろうかという疑問を抱きます。そして、自社内に開発から販売まですべての機能を持つコスメティックブランド SHIRO を立ち上げ、「自分たちが毎日使いたいもの」を現在も絶えずつくり続けています。

今回、秋山喜代賞という名誉ある賞をいただき、北海道から発信していることを認めてくださったことを大変うれしく思います。この賞を今後のさらなる糧とし、限りある資源を無駄にせず、新しく生み出す製品や店舗、建築などのモノやコトが“循環”



する方法を考えて、日常生活に新たな標準を根付かせていきたいと考えています。世の中が良くなることであれば、どんなことであつたとしても、これからも挑戦し続けます。

【関連記事サイト】

<https://www.fashionsnap.com/article/shiro-top2022/>

<https://jonetu-ceo.com/2020/11/30921/>

<https://oggi.jp/7036776>

<https://buzip.net/tokyo/shiro-shiro/top/>